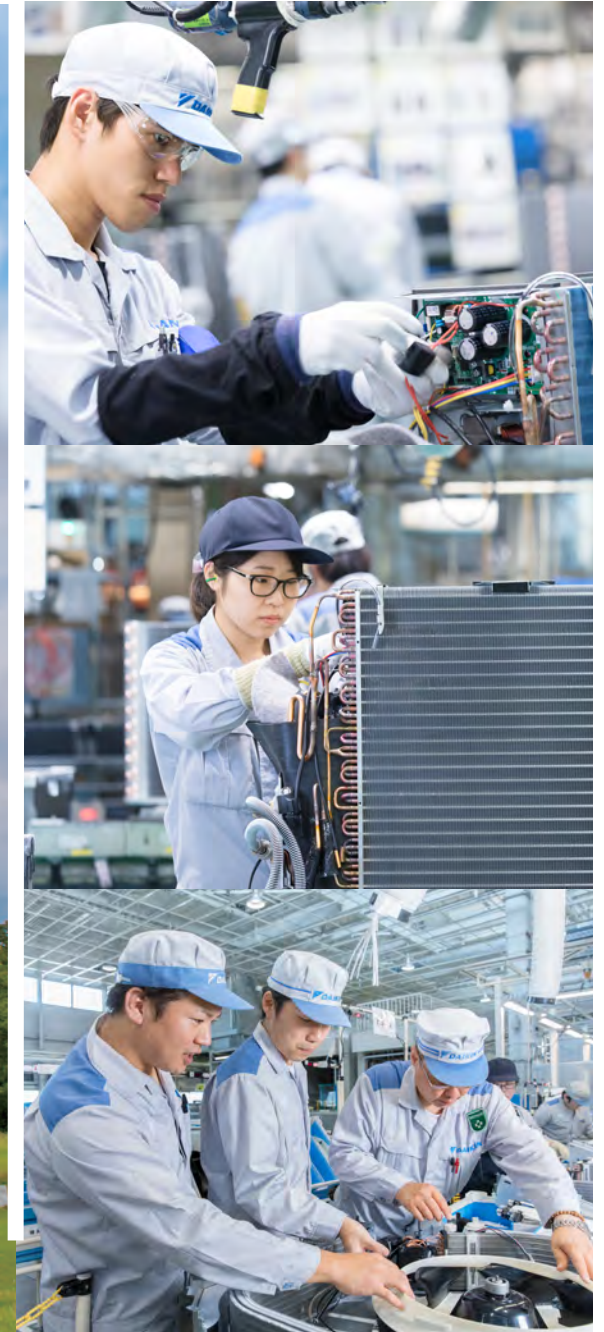


Fine & Amenity

心地よい快適な
環境づくりを目指して。



どんなにすぐれた技術も、ただ新しい、先進というだけでは何かが足りない。

つねに人を見つめて、心地よさと使いやすさで人の心を満たすもの…。

それが滋賀製作所が考える快適製品です。

だからこそ、私たちは、工場づくりにおいても働く人へのやさしさ、快適さを考え、

環境のゆとり創造に取り組んでいます。

滋賀製作所の歩み

- | | | | |
|-------|-------------------------------------|-------|--------------------------------|
| 1970年 | 滋賀製作所竣工 | 1996年 | 国際環境規格 ISO14001 認証 |
| 1978年 | PDS(Production of Daikin System)導入 | 1998年 | 累計生産1000万台 |
| 1980年 | 第2工場稼働 | 1999年 | 「ハイサイクル生産」開始 |
| 1987年 | TPM(Total Productive Maintenance)開始 | 2006年 | 累計生産2000万台 |
| 1989年 | 累計生産500万台 | 2012年 | 労働安全衛生マネジメントシステム OHSAS18001 取得 |
| 1993年 | 第3工場稼働 | 2016年 | 累計生産3000万台 |
| 1994年 | 品質マネジメントシステム規格 ISO9001 認証 | | |



「モノをつくるだけの工場ではなく、誰もが心地よく働き過ごせる空間。」私たちは、恵まれた自然環境の中で「うるおい」や「くつろぎ」のある快適な環境づくりを目指しています。環境を考えた廃水処理場やエネルギーセンター。また生産ライン周辺の休憩所、工場内への自然採光など、つねに「人」を中心とした快適職場環境の創造に取り組んでいます。

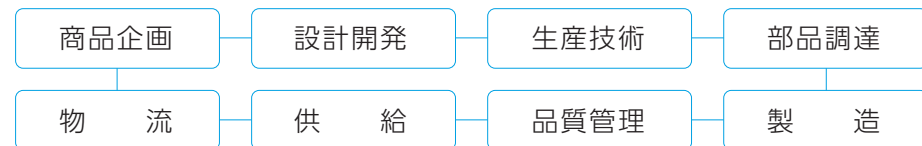
滋賀製作所概要

竣工 1970年11月6日 面積 255,838㎡ 従業員数 約2,300人
 生産台数 最大約5,500台/日 主要生産品目 住宅用空調機(ルームエアコン他)



滋賀製作所は ルームエアコンの一貫生産工場です。

部品の設計・生産・調達から商品の開発・生産・供給まで、従業員が一体となって商品づくりに取り組んでいます。



人にやさしいこと、そして自然にやさしいこと。 ここには、快適をつくるための快適があります。

地域とのつながり

滋賀の自然とともに生きています。

私たちは、自然環境に恵まれた滋賀、そしてマザーレイク「琵琶湖」を大切にしています。



毎年7月1日「びわ湖の日」には県下一斉清掃活動に参加



草津市内の小学生の 工場見学を受け入れています。

エアコンの製造工程や従業員たちの取り組みに触れることで、自分たちの暮らしとの関わりについて学ぶ機会を提供しています。



従業員がアイデアを出し合い、 納涼祭をつくりあげています。

地域の皆様とともに歩み、成長していく。そんな工場を目指して、私たちはこれからも交流の場や機会をつくり続けたいと思います。



盆踊りには地域の子供たちも参加



新入社員によるパフォーマンス

毎年9000名以上の来場者で賑わいます

フィナーレの花火は地域の名物に

入社時教育に体感訓練を組み入れることで危険感受性を高めています。

入社時に、危険を実際に体感することで「止める・呼ぶ・待つ」を徹底しています。また作業においても、代表的な基本作業を体感し、現場感覚を感じ取った上で配属しています。



社内で製作した体感訓練機で、電気の佈さや重量物の感じ方等を体感



ドライバー作業の実技訓練

いざという時も迅速に行動できる体制を整えています。

誰もが落ち着いて対応できるよう、防火・防災訓練を定期的に繰り返し行っています。



自衛消防隊による消火器・消火栓操法訓練を実施



自衛消防隊による救出訓練を実施

こころと身体の健康を第一に考えたさまざまな取り組みを実施しています。

一人ひとりがつねに健康を意識してもらえるよう、いきいきと健やかなこころと身体づくりを目指して健康保持増進活動を展開しています。



毎年開催する運動会で運動の楽しさや活気を実感 気軽に身体を動かして気分転換ができる空間を提供 さまざまな対象者向けのメンタルヘルス研修会を開催

地球環境に貢献する工場を創造しています。

省エネ性向上のための「インバータ技術」、燃料を燃やす暖房を止めることでCO₂を大幅に抑制する「ヒートポンプ技術」、フロンを使わない商品の確立を目指す「ノンフロン技術」など、当社の強みを生かした商品を次々に創出していきます。また、工場では生産効率向上・工程の削減に工夫を重ねエネルギー使用量を削減し、地球温暖化への影響を抑制しています。さらに、工場内で発生するゴミを分別し、全て再資源化するゼロエミッションにも取り組み、廃棄物を一切出さないグリーンな工場を実現しています。こうして、工場働く従業員一人ひとりが「環境をつねに意識しながら行動する」ことで地球の未来を考えながら日々の生産活動を行っています。



従業員自らの提案で推力を利用した「からくり」。省エネルギーを実現しながら、部品を生産ラインへ供給しています。



工場全体のエネルギーを、自社製品である「D-BIPS」^(注1)を使用し管理しています。エネルギーの見える化を推進し、全部門を対象とした省エネ活動を展開しています。
※1 エネルギーを常時監視し消費電力のコントロールができるビル設備統合監視システム

滋賀製作所では、生物多様性保全に取り組んでいます。

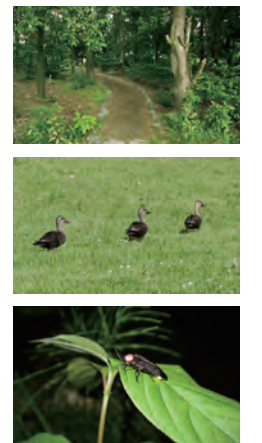
工場内で「ダイキン滋賀の森」づくりを推進しています。周辺環境とのつながりを強め、より質の高い地域生態系の構築を目指しています。



従業員による水路への植樹活動



ダイキン滋賀の森



シンボル種の「ゲンジボタル」

ひとりとりに、グリーンハート



環境シンボルマーク

環境保全活動は、一人ひとりの小さな行動の積み重ねの総和が大きな成果をあげていくものです。緑のハート型の地球で表現した当社のシンボルマーク(2002年2月制定)には、従業員一人ひとりがグリーンハート(地球を思いやり、環境を大切にすることを)を持って行動するという決意が込められています。

ダイキン滋賀の森での活動における受賞歴

- 2010年5月 | 草津市主催 第3回草津市地球温暖化防止大賞 企業部門 大賞受賞
- 2016年6月 | NPO法人日本ビオトープ協会主催 第8回ビオトープ顕彰 特別賞受賞
- 2017年5月 | 環境省主催 第3回環境人づくり大賞 大企業区分 優秀賞受賞
- 2018年2月 | 草津市主催 くさつエコスタイルコンテスト 企業団体部門 大賞受賞
- 2021年3月 | しが生物多様性取組認証制度 3つ星



設計・企画・製造・生産技術・調達の各部門が支えあい グループ一丸となってお客様と社会に 貢献できるモノづくりを実行しています。

「豊かな生活空間の創造」が滋賀製作所の開発テーマであり、製品コンセプト。
憩いのリビング、健やかな眠りの空間など、「空気」で実現できることはたくさんあります。
私たちは「商品」を通じて、お客様に豊かな生活空間を提供したいと考えています。

新商品の企画

新しい価値を提供するための
取り組みをしています。

商品開発のスタートは、お客様のニーズを知ることから。



お客様へのアンケート調査、現地ヒアリングをします

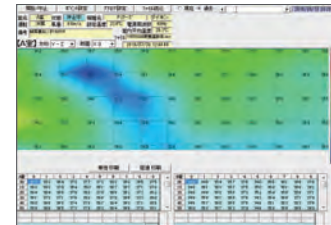


商品企画の内容を検討します

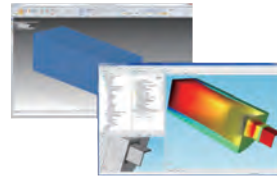
スピーディーな開発

多様化するお客様のニーズに応えるため、
効率よく開発を行っています。

シミュレーションによる先取り検証と現物確認。開発プロセスを高度化することで、
お客様のニーズに合った商品をすばやく提供します。



実際の部屋の温度分布を可視化して、冷暖房の airflow を分析、試作品や開発中のモデルを評価します



シミュレーションした図面から試作品をつくります

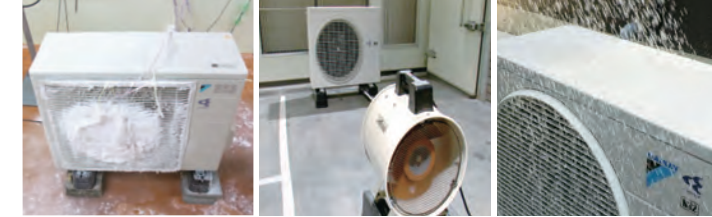


設計者同士だけでなく、調達や製造、生産技術の他部門のメンバーとともに密接に連携してモノづくりをすすめます

お客様視点で評価

品質第一。
徹底した信頼性試験と検証を実施しています。

お客様に安心して使っていただけるよう、さまざまな試験を行っています。
検証の積み重ねによって、お客様への心地よい空間の提供を実現しています。



極寒の地域での使用、台風の風にも耐えられるかなど、厳しい試験を重ねます



一般的な家庭での使用を想定して試験を行います



取扱説明書を見ながら実際に操作してもらい、使いやすさを確認します

タイムリーな商品化

家庭用ルームエアコンや空気清浄機、
エコキュートを開発しています。

商品開発を通して地球環境へ配慮しながら、豊かな生活空間を提供します。



必要な商品を、必要な時に、必要な量だけ生産。 これが業界唯一、ダイキン独自の生産システムです。

「必要なモノを必要な時に必要な量だけ供給すること。」

それを実現させるのが、つねに進化を続けるPDS(ダイキン独自の生産方式)です。その最先端がハイサイクル生産方式(変種変量生産)。ITシステムを駆使し、最新の市場情報に在庫、部品、人材供給を連動させた生産計画を反映させることで、いち早くお客様の多様なニーズにお応えします。この生産方式の導入により、今では日単位での生産変動にも対応可能となりました。「工場リードタイムを短縮し、環境負荷削減にも取り組む」ダイキンの生産方式は今後も進化し続けます。

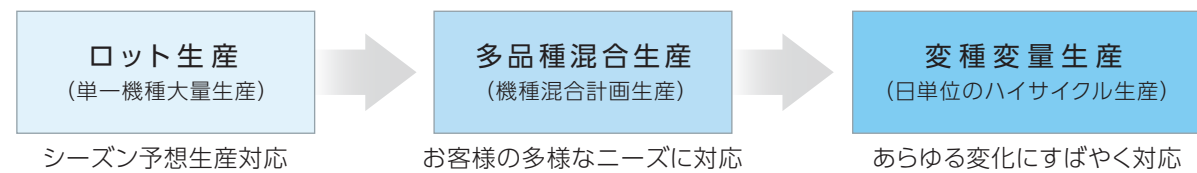


AGV (自動搬送車)



室外機組立ライン

ダイキンの生産方式(PDS)の進化



一人ひとりの能力を生かす新発想の生産方式で変種変量生産に対応。

滋賀製作所では変種変量生産に対応するため、セル生産方式に独自のアイデアを加えた「ダイキン流セル生産ライン」を構築しています。これはスタッフ一人ひとりの能力を最大限に生かす工夫によって、生産のさらなる効率化を実現する画期的なラインです。働く人に合わせて作業台の高さや角度をコンピュータで自動調整し、より作業しやすい環境を整えます。また作業手順をコンピュータが適切に指示することで、作業の手を止めずに効率よく次工程に進むことができるなど、作業者にやさしい作業環境を追求しています。

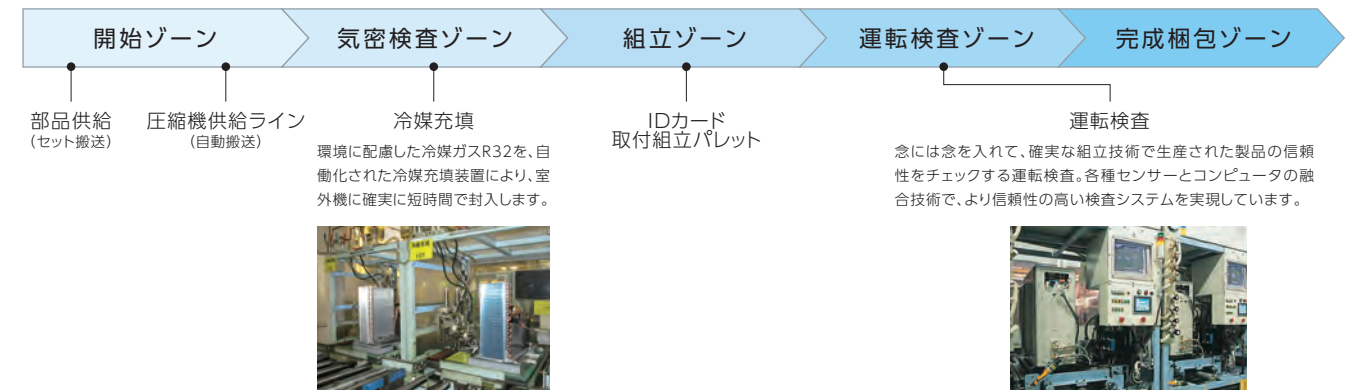


室内機組立ライン

働く人に合わせて
作業台の高さや角度を自動調整

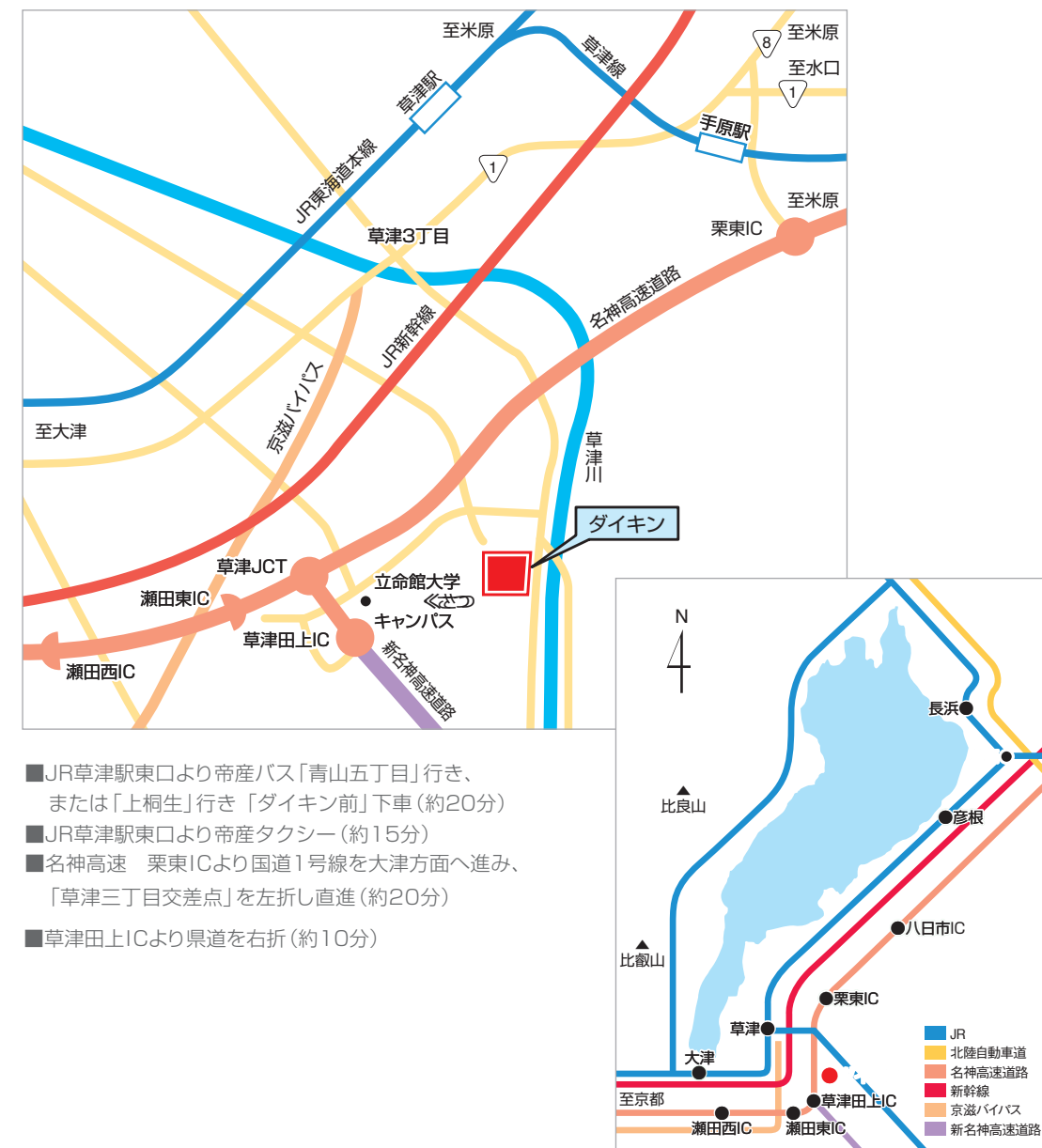


室外機組立ライン





滋賀製作所のご案内



ダイキン工業株式会社

<https://www.daikin.co.jp>

■ 滋賀製作所 / 〒525-8526 滋賀県草津市岡本町1000番地2
TEL (077)563-1151